

SM-15Bホルダーアタッチメントの特徴



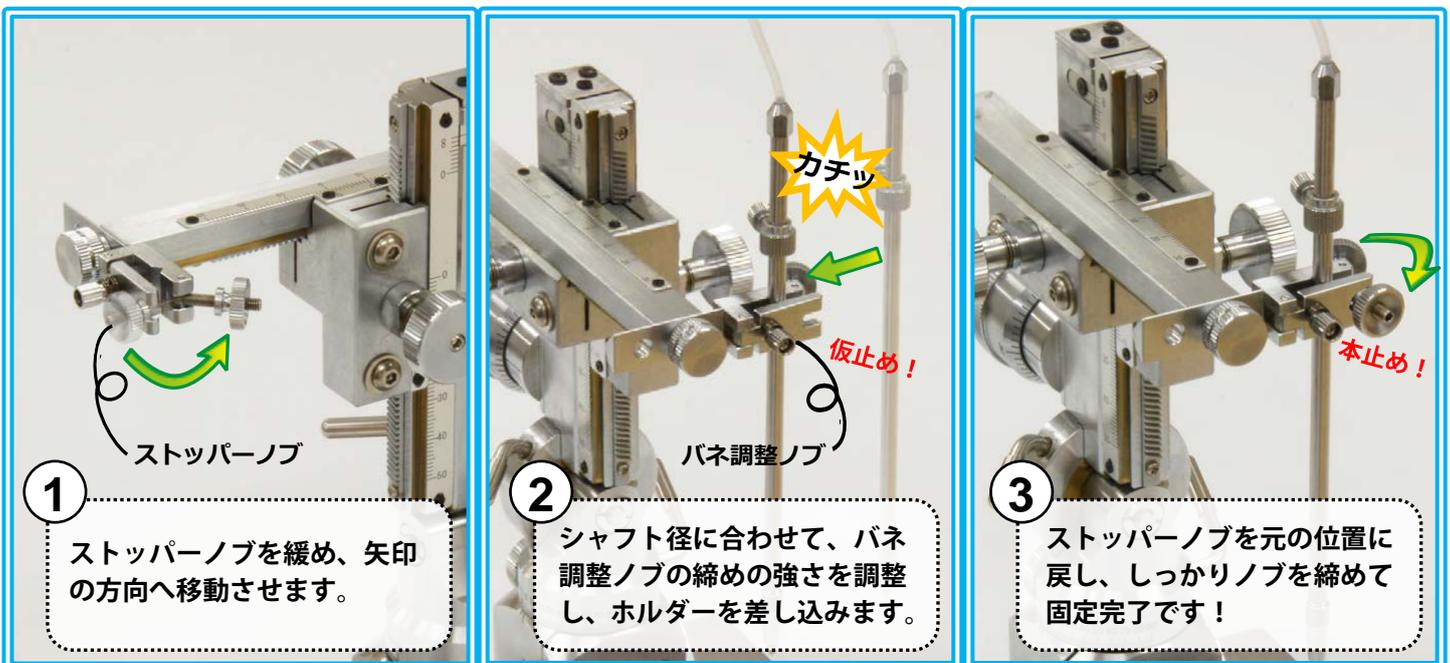
これまで、SM-15 固定装置用マニピュレーターに取り付け可能なシャフトはφ5mmと、SM-15Aを用いてのφ8mm だけでしたが、SM-15Bを用いることでφ3~6mm シャフトのホルダーを保持することが可能になります。

SM-15Bを用いるメリットは、ラットやマウスの脳へ薬液注入を行う際に使用するIM-300等のインジェクションホルダー(φ4mm)を取り付けることにあります。また、SM-15標準パーツによるホルダー類の固定はレンチやドライバーを使用する固定方法で、手間がかかっていましたが、SM-15Bでは道具は使用せず、手で素早く簡単に固定することが可能です。一見、固定が甘くなるのでは…?と思われるかもしれませんが、仮止めと本止めの二段階で保持するので、しっかりとホルダーを固定できます。

下記では、φ4mmのインジェクションホルダーを固定する手順をご紹介します。ホルダーをカチッと止められ、付け替えが簡単にできるSM-15Bをぜひともご利用ください。

ホルダー固定方法

ホルダーを固定する手順はたったの3ステップ！
バネ調整機構により、ホルダーを一旦カチッと止めておくことができ、付け替えも簡単です。



ご不明な点等がございましたら、お気軽に弊社までお問い合わせ下さい。